

# TOYO RECRUIT 2024

## 東陽監査法人

### 東京事務所

〒101-0053 東京都千代田区神田美土代町7番地  
住友不動産神田ビル6F

### 大阪事務所

〒541-0052 大阪府大阪市中央区安土町2-3-13  
大阪国際ビルディング19F

### 名古屋事務所

〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4-26-13  
ちとせビル5F

応募方法は採用HPをご覧ください。

東陽監査法人  
定期採用サイト

[www.toyo-career.com](http://www.toyo-career.com)



公式X

@Crowetoyo\_rec



# Caring and Sharing

ケア、そして価値の共有へ

## 「違い」を 「チカラ」に

あなたの「違い」は、東陽の「チカラ」です。  
一人ひとりの「違い」が集まれば、  
チームの「チカラ」に変わる。

これが私たちの考えです。

将来のビジョン、希望する未来、守りたいスタイル、  
自分らしい働き方を大切にしてください。

まだまだ学びたいという人は、心置きなく学んでください。

## 「ひと」に寄り添い、 「ひと」のチカラで成長する東陽へ

東陽監査法人は、「ひと」に寄り添い、「ひと」のチカラで成長する東陽へ】をスローガンとして掲げています。

監査法人にとって唯一無二の財産は人財です。私たち公認会計士に求められるのは、単なる会計・監査の知識ではなく、財務情報の信頼性の確保という社会的使命を全うしようとする強い姿勢と不断の覚悟です。情熱に溢れる優れた人財を育て、社会的使命を全うすることによって広く社会に貢献していく、これが私たちの目指す監査法人です。

それゆえ、職員とのコミュニケーションが最も重要であると考えています。職員ひとりひとりに寄り添い、風通しの良い組織であることが良好な人間関係を生み、相互の価値観の共有を促進します。この価値観の共有により、職員とともに監査法人としても成長していくことを目指します。

職員に寄り添うとは、様々なバックボーンを有する個人がお互いの価値観を尊重しつつ、個々の能力を思う存分に発揮できるよう、常に親身となり支えていく組織風土を醸成することと考えます。

我々は、「ひと」に寄り添うため、人財育成に注力しており、OJTやメンター制度等手厚い育成制度を取り入れております。特にOJT制度は3名の先輩職員が担当することで個人の成長を法人全体で支援しております。

我々東陽監査法人は皆様がいち早く確実に成長できるよう全力でバックアップしていきますので、ぜひ東陽監査法人へ足を運んでください。皆様とお会いできるのを楽しみにしております。

東陽監査法人 理事長  
浅川 昭久



# About IPO

## 東陽監査法人でIPO監査を経験するメリット

すでに上場を果たした会社も、これから上場を目指す会社も、監査という意味では基本的には同じなのですが、通常、すでに上場している会社は規模が大きいため、担当者は一つの勘定科目を担当することも大変です。この点上場準備会社は比較的小規模なので会社全体を見渡すことも容易なことが多いです。それゆえ一人で多くの勘定科目を担当することができ、上場会社の監査とはまた違った意味で勉強になることが沢山あると思います。

また、会社の決算体制や資料の出来等についても異なります。上場会社では上場に必要内部統制であったり、決算資料の適時性や正確性が備わっていますが、上場準備会社ではそもそも監査を初めて受ける会社も多いので、若手の会計士でも今まで上場会社の監査で培った知識で相談に乗ったり、エラーを発見するなど会社から頼りにされることが多いと思います。



会社の担当者という意味でも、上場会社では科目毎に担当者が違ったりして、CFOともなかなか最初のうちは話す機会もないかと思います。一方、上場準備会社では若手の会計士でもCFOだけでなく経営者とも直接話す機会があることが多く、経営者の考え方も知ることができて勉強になることは多いかと思います。

この様な中で実際に上場が果たせる会社は一握りではありますが、実際に上場できたなら担当した会計士にとっても大きな達成感を得ることができ、今後の長い会計士人生の中でも大きな自信になるのではないかと思います。

その中で、東陽監査法人でIPO監査を経験できるメリットをあげるとすると東陽監査法人ではIPO監査チームの組成において、過去にIPOを経験しているパートナー

や主査等とIPO未経験の若手会計士をうまく織り交ぜて法人内でIPOに関する知識を伝達共有できるように工夫しています。定期的に外部講師等によるIPO勉強会を実施することで、最新の知識の習得が可能です。また、他のIPO監査チームメンバーと交流することで、IPO特有の疑問や悩み等を共有することができる法人内人脈を得られるようにしています。こうして、世代を超えて積み重ねられたIPOに関する知識は法人の財産となっており、当法人に入所する若手会計士にとってこの財産を享受できることはとても大きな魅力といえます。

さらに、東陽にはIPO専門の部署がないため様々な業種の上場会社の監査と同時並行しながらIPO監査も実施できるため、本人が希望すれば入所後比較的早い時期でもIPOに携わることが可能です。

これは若手会計士にとっては特定の監査だけに偏ることなく、様々な会社の監査が経験できるので成長の機会を増やすことができるものと考えています。

このように東陽監査法人は若手会計士の経験と成長を全力で支援できる監査法人です。手を挙げれば入所後でも比較的早い時期で機会がもらえる、そんな環境の中でぜひ自分のキャリアの幅を広げていただきたいと思います。

営業推進・IPO支援室長  
シニアパートナー  
**中里 直記**  
2006年入所



## IPO監査とはなにか

IPOとは「Initial Public Offering」の略語の事、いわゆる株式公開を指します。コロナ禍を経た現在も、IPOを検討している企業数は増加の一方です。証券取引所に対するIPOの上場申請時においては、直近2期間分の財務諸表に対する公認会計士又は監査法

人による監査意見が求められます。監査法人の役割としては、財務諸表監査のみならず、企業に対して適切な財務諸表監査を受ける為の体制構築についての助言が必要になり、コミュニケーションを密接に行っていく必要があります。

## IPO監査のやりがい

会社の監査という大きな枠組の中でも、特にIPO監査はクライアントと二人三脚になって「上場」というゴールを目指す仕事だと知り、面白さを感じました。東陽との面談の場では率直に思ったことを話し、新人でもIPO準備会社のチームに入れるようにするとお話いただけたので入所を決めました。入所以来4社のIPO監査に携わり、うち2社が上場。インチャージになり、自分のチームで上場を支援できた会社は1社となります。これだけIPO監査の経験ができるのも、自ら希望して入ったことと無関係ではないと思います。

IPO監査の魅力は、企業の経営層と直接話す機会が多く、担当会計士として頼られる存在になれること。これまで監査自体受けたことのない会社なので、分からないことが多く、「これどうしたらいいですか?」といった基本的な質問から始まります。

普段の業務は、通常の監査と大きく変わりません。いざ上場が近づくと、証券会社や証券取引所とのヒアリング、契約の巻き直し、コンフォート・レター、上場申請のための有価証券報告書の大詰めなどの業務が加わり、とても



忙しくなります。上場時期が計画よりも後ろに倒れると、他の案件への影響もあるため、上司やチームメンバーなど様々な方をお願いをしまわるのも大変でしたが、無事に上場を迎えたときには達成感がありました。

チームの軸として活躍し、最後に感謝の言葉もいただけるIPO支援。通常の監査業務では得難い経験ができ、会計士として上を目指す自分のモチベーションにもなっています。

## 東陽で学べるIPO

現在、準大手監査法人はIPO監査の依頼が非常に多く、IPO監査に携わりたいと考えている方には絶好の機会です。東陽は部門の垣根がないので、手を挙げればIPOのクライアントに実際に携わることができる環境です。

また、いきなりIPO現場に出ても困らないように、**バックグラウンドがあるメンバーと若手を中心に、外部コンサルティング会社を講師に招いて月1回程度勉強会が開催**されています。





監査第1部  
ジャパンデスク  
シニアスタッフ  
**田口 浩司**  
2009年入所  
シンガポール駐在経験者

# Crowe Global Japan Desk

監査第1部  
ジャパンデスク  
パートナー  
**石川 裕樹**  
2006年入所  
中国駐在経験者



**行動しなければ何も始まらない。**

**海外経験が自分を変えてくれた。**

大手監査法人で国内監査業務に従事した後に東陽監査法人に転職しました。しばらく国内監査業務に携わっていましたが、2019年～2023年の間、Croweのメンバーファームのシンガポール法人であるCrowe Singaporeに出向していました。帰国後はCroweのジャパンデスク担当として「リファラル業務」にあたっています。

ジャパンデスクとは、各国のCroweのクライアントが、日本に拠点を設けた際に発生する保証業務の依頼や問い合わせなどを受ける窓口です。

私は、シンガポールに行くまでまったく海外留学等の経験はありませんでした。社会人になった当初は海外で働くことにも興味は無かったのですが、東陽監査法人に転職後、海外関連業務に携わる機会があり、徐々に興味を持ち始めました。そして、いざ行ってしまえば面白さを感じるもの。自分の中に、海外業務という経験が積み重なっていくほど、自信と誇りを感じるようになりました。

海外業務の魅力としては、まず対応する仕事の領域が広く、国内監査では経験できないような業務にたくさん携われます。次に、多様な価値観に触れられること。現地で日本の常識が通用しないと気づきましたが、やり方、接し方が分かってくると仕事が楽しくなりました。それから、現地では普段、会うことのないような日本の方々とも知り合いました。これがとても良い経験になっています。

海外業務では楽観的なマインドを持つことが大切だと思います。私も最初は不安だらけでした。自ら行動しないと何も始まらない状況で、自分からクライアントに連絡を取って会いに行くといったことが求められました。駐在を通して、物事を進めていく馬力が養われたと思います。

東陽はますますグローバル展開が進むと思います。昨今、インバウンド需要が盛んなことから、今後、海外の外資系企業は日本市場への進出が増え、東陽のジャパンデスクの存在感が高まっていけば、日本にしながら海外監査業務を経験する機会も増えていくでしょう。東陽は、若手に成長の機会を与えてくれる法人です。入ってくる新しい仲間とともに、東陽の活躍の場をさらに広げたいと思います。



**海外業務の経験は**

**人間を大きく、目線を高くしてくれる。**

東陽監査法人に入所して4年目、ちょうど万博が開催された2010年9月に中国の「上海」へ渡り、その後、「蘇州」と「成都」へと移りまして、計4年ほどの駐在経験を経て2014年12月に帰国しました。

現地では、日系企業の中国子会社に対し、日本の親会社の監査人から送付されるインストラクション(監査指示書)に基づく監査や親会社の監査人に対しレポーティングの実施、又日系企業が現地の中国企業を買収する際に取引をサポートする財務デューデリジェンスやバリュエーションといった業務にも関与しました。



中国内陸にある成都に移った時は、現地法人の総経理、いわゆる社長を2年間務めました。ここでは、現地法人の立ち上げ業務から、クライアント獲得のための営業活動、人の採用、規程の整備等、営業・総務・人事とあらゆる業務を経験しました。

プレッシャーは感じましたが、新天地で現地法人の総経理としてマネジメントすることに大きなやりがいを感じました。

帰国して感じるのは、外資系企業が日本に進出しているインバウンド需要が高まっていることです。外資系企業に対する監査業務の需要が高まっている環境ですので、東陽では今後、職員の海外駐在を推進したいと考えています。海外駐在には向き・不向きがあるので、誰にでもすすめられるものではありませんが、海外駐在を経験してみたい気持ちが少しでもあれば、細かいことは気にせず、1回チャレンジしてみたいかかがでしょうか。海外駐在では、困難なことを乗り越えるやりがいを見出し、それが積み重なっていけば自分の強みになります。

現在、私はHR戦略部の責任者ですが、人の採用や育成をする上でも現地で経験したことや考え方がとても影響しています。それは「人の多様性こそが、会社が成長するための原動力である」というものです。東陽にはさまざまなキャリアやバックボーンをもった方たちが働いていますが、将来的には、メンバーファームから外国人会計士を受け入れることも考えており、当法人はさらに多様な人たちが働く職場になる可能性があります。東陽のHR戦略は、その高い次元の多様性を目指して土壌を作っている段階にあります。

東陽には、海外に行きたいと手を挙げれば行ける機会と環境が整っていますので、ぜひ挑戦していただきたいと思っています。

# 監査第1部

東京事務所

## 業界を裏側から支え 監査を通して新たな世界が広がる

監査第1部は、多種多様な幅広い業種の監査先があります。例えば広告、マスコミ、出版、小売、製造業、金融、観光業など、多岐にわたります。広告やマスコミ関係の仕事では、華やかな業界を裏側から垣間見ることができます。第1部の大きな特徴としては、IPO準備企業のクライアントの多さです。上場に立ち会う感動は、なかなか得難い体験です。昨年入所したばかりのスタッフもIPO準備企業の監査に携わっており、手を上げればすぐに関与できるチャンスがあります。

そして、監査第1部は国際案件が比較的多いことも特徴です。クライアントにはIFRS適用企業もあり、海外のファームで働き帰任したメンバーとも一緒に働く事ができます。将来的には海外で経験を積んでみたいと思っている方はぜひ監査第1部で夢を叶えてください。

東陽全体に言えることですが、一つの事業部にいながらあらゆる規模・業種に携わることで、経験値が高められます。会計士として将来の可能性を柔軟に考えている人には、刺激も多く最適な環境だと言えます。

是非、あなたの会計士としてのスタートを東陽で始めてみませんか。

### Profile

監査第1部

シニアスタッフ

柿澤 佑樹

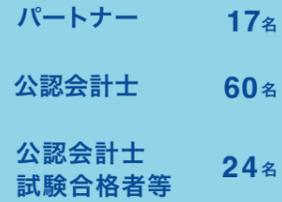
2021年入所

大手監査法人で経験後、税務の経験を積み東陽へ入所。現在は不動産業・金融業のインチャージを担当する傍ら、上場企業の監査チームの主要メンバーとして活躍するなど多様なクライアントに関与している。

関与先



所属人員数



# 01



# 監査第2部

東京事務所

## 横断的な業種の経験を積み 会計士としての総合力を高める

監査第2部も、監査先は他業種にわたりますが、強いて言えば金融や交通インフラ系の関与先が多くあります。金融に関して、準大手監査法人の中ではめずらしくその分野でも多岐に渡り、証券会社やファンド、政府系企業のクライアントに関与しています。金融監査は、より専門的な知識が求められますが、東陽は部門で業種を分けていないため、金融監査で得た知識や考え方を事業会社の監査でも活かすことができます。横断的にあらゆる分野の監査に触れることで、公認会計士としての総合力が鍛えられます。

新人教育においては、実直な指導を心がけています。具体的には、社会人としての礼儀作法はもちろん、クライアントの方への質問の仕方、会計監査六法を積極的に使って調べるなど、自分の手で正しい知識を身に付けられるよう指導しています。また、監査はチームワークが大事なので、お互いの仕事をフォローし合うことや、新人の方が気軽に質問しやすい雰囲気作りを大事にしています。

東陽では、若手の方が基礎から成長し、一人前の会計士に育っていける土壌があります。社会人経験がない方も安心して飛び込んでください。皆さんが仲間入りする日を心待ちにしています。

### Profile

監査第2部

マネージャー

倉増 典明

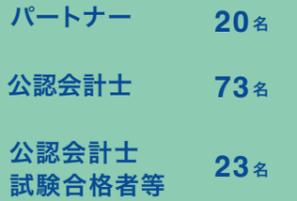
2010年入所

一貫して東陽でキャリアを積み、現在マネージャーとして数多くの主要クライアントを担当。監査業務サポート部員として法人内研修の講師としても活躍するなど、間接業務にも深く関与。

関与先



所属人員数



# 02



# 監査第3部

東京事務所

## 学校法人等、パブリック向けサービスを展開

監査第3部では、これまで多くの学校法人・公益法人に対して会計監査やサービスを提供しています。監査は、経験豊富かつ学校法人・公益法人に精通したメンバーによって構成される監査チームにより、組織的、効率的に実施されるとともに、会計、内部統制等についてきめ細やかなサービスを提供しています。また、政府関連の委員会や日本公認会計士協会の委員会の委員等に就任し、積極的に活動しています。

学校法人監査について、IT分野の専門的知識を有する公認会計士が情報システムを理解し、効率的な監査を実施します。収益事業は、税務に精通した公認会計士が担当します。また、リスク・マネジメントに関する多くの事例を背景として内部管理体制及びリスク・マネジメントの構築をサポートしていきます。

公益法人監査について、公益法人・一般法人が行う事業は多種多様なことから、事業内容や組織の特性を充分踏まえた上で効果的かつ効率的な監査を実施します。また、研修等を通じてスムーズな財務諸表の作成をサポートします。ガバナンスや業務の見直し、定款・諸規程の改訂に関する助言や、中長期計画の策定支援、合併・事業譲渡・営利法人への組織変更等の支援を行います。

### Profile

監査第3部  
シニアスタッフ

取違 京子

2021年入所

大手監査法人での学校法人監査を契機に、学校法人職員を経て、東陽入所。学校法人監査業務に幅広く携わる中、文部科学省の委員や公認会計士協会東京会の学校法人委員会にも所属し、法人内外で精力的に活動中。

関与先

19社 学校法人監査  
6社 法定監査他  
15社 任意監査他

所属人員数

パートナー 6名  
公認会計士 8名

# 03



# 監査第4部

名古屋事務所

## 東海圏の多種多様な監査先から学ぶ少数精鋭の若い組織

監査第4部(名古屋事務所)は愛知県、岐阜県、三重県、静岡県の東海圏が主な活動エリアです。名古屋事務所の立地も名古屋駅から数分のところにあり、アクセス抜群です。名古屋事務所は全体で30名弱の小規模な組織ですが、スタッフは20~30代のメンバーが多く、比較的若いメンバーが多いことも特徴です。昨年入所したメンバーも、すでに新人と意識させないくらい監査チームに溶け込んでおり、日々頑張っています。

愛知県は自動車や航空関係の企業が多いため、準大手以下の監査法人は業種が偏っていると思われることもありますが、東陽監査法人の名古屋事務所においては、製造業の他に証券業、小売業、飲食業、サービス業、紡績業、不動産業、学校法人等のクライアントがあります。規模の面でも、東海圏を代表するようなプライム上場の企業から中小企業まで様々です。

パートナーは現場にいることが多く、スタッフとの距離が近いため、新人の頃から多くの事を学べる環境があります。公認会計士としてバランスよく成長したい方にはとてもおすすめです！

### Profile

監査第4部  
シニアスタッフ

横井 良亮

2020年入所

試験合格後、新卒で東陽入所。名古屋事務所では経験を重ねる。名古屋事務所の主軸として、製造業、小売業のインチャージに従事。監査業務のみならず、研修講師やリクルート活動など間接業務にも幅広く貢献。

関与先

7社 金商法・会社法監査  
4社 会社法監査  
3社 任意監査他  
2社 学校法人監査

所属人員数

パートナー 2名  
公認会計士 16名  
公認会計士  
試験合格者等 8名

# 04



# 監査第5部

大阪事務所



## 風通しの良い環境で あなたの成長をフルサポート!

監査第5部(大阪事務所)は西日本が主な活動エリアです。事務所の人員規模も40名程度で事務所全体がまとまりやすく、スタッフからパートナーまでフラットな雰囲気と和気あいあいと楽しく仕事をしています。

東陽は、準大手であることからクライアントの規模も中堅や地方の優良企業が多く、業種としてはモノづくりのメーカーやサービス業等の営利企業、学校法人から金融機関と非常に幅広く、またIPOを目指しているクライアントも多く担当しております。よって、メーカーと学校法人を担当する等、業種にこだわらず、視野を広く持ち、様々な自分の可能性を模索することができます。

大阪事務所の特徴としては、昔から後輩育成に対して特に熱心に取り組んでいるところです。新人には必ず、マンツーマン指導で先輩がしっかりと丁寧に指導します。入所後、年次が経つとOJTの育成側になり、教わったり教えたりしながら切磋琢磨し合う土壌があります。やりたいことがある人はどんどん手をあげてください。事務所全体でサポートします!

### Profile

監査第5部

シニアスタッフ

松井 泰樹

2019年入所

試験合格後、新卒で東陽の大阪事務所でのキャリアを積む。小売業、製造業、運送業、IT企業など様々な業種に関与。入所3年目から学校法人のインチャージを担当し、現在はチーム運営や後輩育成に注力している。

関与先

- 10社 金商法・会社法監査
- 5社 IPO監査
- 1社 学校法人
- 1社 公益法人・一般法人
- 1社 法定監査他
- 3社 任意監査他

所属人員数

- パートナー 2名
- 公認会計士 19名
- 公認会計士試験合格者等 15名

# 05



## Junior

ジュニア

# TOYO Staff Interview

監査第2部  
ジュニアスタッフ  
駒壽 直斗  
2022年入所



意見をぶつけ合いながら前へ進む。

現場コミュニケーションが楽しい。

大学は法学部に進みましたがそのまま法の専門家になることに疑問を感じ、他の道を模索したところ、公認会計士という職業を知りました。監査法人は現在就職環境が良好で就職しやすく、独立・開業など将来の選択肢が豊富なのは会計士ならではの魅力です。法律も学びつつ専門学校に通うのは大変でしたが、なんとか在学中に公認会計士試験を突破できました。

採用面接を受けたのは東陽監査法人だけです。応募者の多い大手に対し、準大手の東陽は、採用担当者が一人ひとりに丁寧に接しているのが好印象で、若手でも幅広く業務に取り組めることに“メリット”を感じました。

現在、入所3年目のジュニア(J3)の段階で、OJTを受けながら業務に取り組んでいます。

仕事の特徴を2つ挙げますと、まず担当する科目の幅が広いこと。現預金や借入金といった初歩的な科目から、チームによっては販管費や売上原価、売上高のような難易度の高い科目まで経験していきます。私はチームの所属を変えながら1年間でさまざまな企業を担当。同じ論点でも異なった意見を吸収でき、理解を深められました。2つ目は現場主義であること。多くのメンバーはクライアントの一室に集まって監査にあたります。

現場では、私のような新人でもクライアントの担当者に対し、会計処理上の問題点を指摘するなどのやり取りを任せられました。限られた時間にいろいろな経験ができたことで早く成長できたと思います。

インチャージとの関わりで言えば、自分は教わる立場ではありますが、こちらでも会計監査人。自分の意見をぶつけ、ベストな結果を導いたときは自分の成長を実感します。

職場には面倒見のいい方が多く、何度質問しても嫌な顔一つせずに教えてくださいます。私のように、学生合格で最初に就職する法人として東陽はおすすめです。公認会計士になるために、自分の望むように勉強でき、着実にステップアップしていけます。



# TOYO Staff Interview

## Senior

シニア



### インチャージの仕事は

### メンバーが力を発揮できる現場づくり。

大学で会計を学び、卒業後は公認会計士の専門学校で講師を務め、その後、業界大手の監査法人に就職しました。監査のプロになるべく突き進んできましたが、結婚して子供が生まれてからワークライフバランスを見直そうと転職しました。東陽監査法人を選んだ理由は、面接でお会いしたパートナーに家庭を大切にしたい自分の気持ちに共感いただいたこと。そして、パートナーからジュニアまでほぼ全員が一つのフロアにいて、チームワークがよさそうだと感じ、ここなら自分らしく仕事ができそうだと確信しました。

前職では副主査でしたが、東陽に来てから公認会計士に登録できるようになり、インチャージ(主査)になりました。インチャージは、基本的にはチームの全体の管理と監査業務の管理を行うもの。監査のために計画策定やチームの組成を行い、メンバーの経験・能力を見ながら役割を振っていきます。他にも、契約についてクライアントと交渉することもあります。この守備範囲の広さは東陽ならではの特色かもしれません。

東陽のインチャージのやりがいを2つ挙げますと、まず業種を問わず複数の会社の監査に関与できること。クライアントをより深く、業界を幅広く知るほど監査の面白さを感じます。もうひとつは、チームづくりです。良好な作業環境をつくってメンバーに楽しく仕事をもらいたいことから、何より楽しく、話しやすい現場をつくるのが私のやりがいになっています。自分だけでは客観的に課題を捉えられず、行き詰ってしまうこともありま

すが、そんなとき、周囲とコミュニケーションを取ることの良い解決策が見つかります。

東陽に中途で入所する人の多くは監査に関する経験値が高く、仮に自分が力不足であったとしても、他のメンバーがしっかりフォローしてくれます。チーム内で処理できない問題が起こればチームの枠を超えて解決していきます。一つにまとまった組織を運営できる点が東陽の強さだと思います。東陽は働きながら学べる機会が多い監査法人。中途でも新卒でも、監査法人で働きたい方には素晴らしい職場環境だと思います。

監査第2部  
シニアスタッフ  
**住吉 悟**  
2022年入所



監査第2部  
マネージャー  
**赤川 竜彦**  
2021年入所

## Manager

マネージャー

### 育つ仕組みをつくる組織運営。

### 現場のチーム運営と両方やるから面白い。

東陽監査法人に入る前は、大手監査法人に勤めていました。やりがいもありましたが、コロナ禍で激務が続き、体に過度な負担を感じたことや、子供が小さかったことから家族と過ごす時間を増やしたいと思い転職を決意しました。ワークライフバランスが良いと聞いていた東陽の面談を受けたところ、「良い人も多い職場ですよ」とアピールいただき入所を決めました。監査法人で働くにあたっては、チーム運営においてメンバーの人間性はワークライフバランスと同様に重要なポイントです。実際に働きやすい環境で、家族と過ごす時間が以前よりも増えています。

2023年7月にマネージャーを拝命しました。インチャージとして監査チームの運営をしながら、法人運営

業務として監査業務サポート部に所属し、法人全体の最適化を担う業務にあたっています。仕事量も増えましたが、法人の運営業務というやりがいも増えました。

監査業務サポート部では、「アサインの在り方」の検討や「OJTコントローラー」なども行っています。「アサインの在り方」とは1人の適正な担当会社数を決めることです。特に、若手の会計士等にとっては、多すぎるチームへのアサインは、チーム内での教育の機会が少なくなり、被監査会社をより深く知ることもできなくなるため、成長の妨げになることもあり得ます。そうならないように、全体最適化を図っていくのが私たちの仕事の1つです。

「OJTコントローラー」は、新人に対して行われるOJT指導円滑化のための支援業務です。私が個人的に力を入れているのは「1組のペア」を考えたアサインで、もし有効な手段となれば、次は「OJTコントローラー」として拡げていきたいです。

マネージャーになりますと、インチャージとして監査チームを運営しながら、全体最適化の視点から法人運営業務に携わります。これは、監査法人でキャリアを積み上げることではしか得られない、会計士としての醍醐味であり、面白さであり、そして絶好の成長機会でもあると思います。



## Director

ディレクター

# TOYO Staff Interview

## Partner

パートナー

選択肢が豊富だからこそ

将来どうなりたいかをイメージする。

若い頃に勤めていた出版社で、ある女性会計士の働きぶりに憧れをもったことがきっかけとなり、公認会計士の道へ進みました。資格取得後は大手監査法人で法定監査(金商法・会社法)の主査を務めました。結婚後、非常勤で働く事ができて、2011年に東陽監査法人に転職。主査を経て常勤になり、現在ディレクターになったという経緯です。

ディレクターの仕事は現場業務と法人業務の2つに分かれます。現場業務は、主に統括主査として主査をマネジメントするものですが、統括主査としての役割だけでなく自分も一人の担当主査としてクライアントの監査業務にあたっています。監査業務はチームワークがとても重要。情報共有を密に行うことはもちろん、若手にはこちらから声掛けて数居を下げ、「褒めて伸ばす」ことを心掛けています。一方、法人業務は東陽監査法人自体の運営に関わる業務です。私は審査部に所属していて、審査にあたるパートナーを補助する役目を担っています。他に、広報PR支援室にも所属し、出版物の執筆や発行する書籍等の審査を行います。現場と法人、それぞれの業務には固有の達成感があります。現場ではクライアントの問題解決に貢献できることにやりがいを感じますし、また、審査や書籍の執筆も成果が見えやすい仕事です。やることが多いのですが、その分「次もがんばろう」という気持ちも増えていきます。

会計士にとって大切な能力はコミュニケーション力と問題解決力。その力が足りないと認識している人でも、



経験を積んでいけば確実に獲得できます。

東陽には多種多様なバックボーンをもった人が働いていて、みんなが新人・若手の成長に関心を持っています。新卒でも中途でも、入所してひとりぼっちになることは決してありません。監査法人には、パートナーを目指す道もあれば、経験を活かして別の業界に羽ばたいていく道もあります。東陽に入れば自分の目指すキャリアを磨くことができるでしょう。私もしっかりサポートさせていただきます。

監査第1部

ディレクター

原 美樹

2011年入所



HR戦略部 部長

パートナー

石川 裕樹

2006年入所

人の成長を全力でサポート。

多様な価値観の中で自分を磨き続けよう。

監査法人業界において、何より人は重要です。HR戦略部は人材を「人財」ととらえ、採用から育成・評価、適材適所の配置、そして長く勤めてもらうための福利厚生制度等の改善など、一貫して取り仕切る部署です。「ひとに寄り添い、ひととともに成長する東陽へ」というスローガンのもと、職員が働きやすく、長く勤めたいと感じてもらえる風土や制度を整備し、成長機会を提供しています。

働く環境として東陽の特徴は何といっても「人財育成」ですが、この場で他に上げたい特徴は「人の多様性」のほうです。大手から中小まで、さまざまな監査法人の出身者が在籍する、まるで「監査業界の縮図」のよ

うな職場は他ではあまり見られない風景です。公認会計士として経験豊富な方のほか、前職が国家公務員や薬剤師、営業職、あるいはミュージシャンを目指していた人など、異業種の経験者も多く在籍しています。採用スローガン「違いをチカラに」が象徴するように、多様な経験・バックボーン、価値観の持ち主がいる状況は、東陽の強みの源泉でもあります。チーム運営に責任を持つ上司は、メンバー個々の価値観や経験の違いを尊重し、決して自分の価値観を押し付けるようなマネジメントはしません。違いを認め合う風土の中で、「自分らしさ」を保ちながらチーム一丸となって仕事ができるのが東陽の魅力です。

監査業務は、会計・監査の知識に頼っているだけでは、クライアントから寄せられる様々な問題に適切に対応できません。個人の判断が求められる場面も多くあり、そこに自分らしい考え方、判断力が求められます。そしてそれは、価値観が混ざり合う環境でこそ養われ、磨かれるものだと思います。

東陽が今後どのように変化しても、人は財産であるという考え方は変わらないでしょう。個を尊重し、能力を活かす機会を与えることはこの先もずっと続きます。公認会計士になればさまざまな道が開けてきますが、キャリアのスタートとして、東陽を選ぶことは最善の選択だと思います。



# 研修制度



	IT・ヒューマンスキル	会計・監査
<b>Junior</b> ジュニア	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ビジネスマナー研修</li> <li>● Excel・Word実務研修</li> <li>● ITパスポート試験対策研修</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新人研修(監査調書作成実務等、各科目基礎講座)</li> <li>● 会計基準等</li> <li>● 監査ツール</li> <li>● 税効果会計</li> </ul>
<b>Senior</b> シニア	<ul style="list-style-type: none"> <li>● チーム統率スキル養成研修</li> <li>● プレゼンテーションスキル養成研修</li> <li>● データ分析基礎講義・実務研修</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● インチャージ業務基礎講義・ディスカッション</li> <li>● 会計基準等</li> <li>● 監査ツール</li> <li>● 税効果会計</li> </ul>
<b>Manager</b> マネージャー	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 講師スキル養成研修</li> <li>● クリティカルシンキング養成研修</li> <li>● 交渉力養成研修</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 会計基準等</li> <li>● 不正事例研究ディスカッション</li> </ul>
<b>Director</b> ディレクター	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 交渉力養成研修</li> <li>● AI・データサイエンス研修</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 会計基準等</li> <li>● 不正事例研究ディスカッション</li> </ul>
<b>Partner</b> パートナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>● リーダーシップ養成研修</li> <li>● AI・データサイエンス研修</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 会計基準等</li> <li>● 不正事例研究ディスカッション</li> </ul>

## 基礎から学ぶ 多角的な研修プログラム

東陽では、新入職員の皆さんが入所後、監査業務をスムーズにスタートできるよう基礎から学ぶことができる様々な新人研修を実施しています。

例えば、社会人としての心得を身につけるビジネスマナー講座、監査調書の作成実務などの基礎研修、さらには実務に即したExcel・Word講習まで、皆さんがいち早く監査現場で活躍できる万全なプログラムを用意しています。

入所すぐの新人研修以外にも、8月に夏季研修が行われます。現場を経験した分、新人研修より理解も深まり面白く感じるはず。先輩スタッフとの合同ディスカッションでは論理的思考力も磨かれ、入所時より成長した自分に気付けるでしょう。

また、年間を通して品質管理上重要なポイントもeラーニングで網羅でき、監査知識も適時ブラッシュアップ可能です。

IT・ヒューマンスキル	<b>データ分析基礎講義・実務研修</b> データ分析の目的と様々な手法を習得することで日々の業務効率化を図ります。	<b>ビジネスマナー研修</b> 入所後はすぐに外部講師によるマナー研修があるので社会人経験がなくても安心です。
	<b>チーム統率スキル養成研修</b> 成果を最大化するためのチーム運営の手法や、部下に合わせた指導法などを学びます。	<b>クリティカルシンキング養成研修</b> マネジメントに必要とされる思考力を磨く為、論理の正しさや課題を検証し、テクニックを身につけます。
会計・監査	<b>Excel・Word研修/ITパスポート試験対策研修</b> 監査業務に欠かせないOfficeソフトやITに関する基礎知識を習得できます。	<b>交渉力養成研修</b> クライアントの経営陣とのディスカッションに必要な交渉力を養います。
	<b>新人研修</b> 入所後約3週間の研修の中で、監査の流れから各監査手続についての基礎を体系的に学びます。	<b>不正事例研究ディスカッション</b> 職位や部門をこえた縦割メンバー内で、過去に実際起こった不正事例について議論します。
	<b>監査ツールを用いた監査実務研修</b> 仕訳テスト等で有用な監査ツールについて研修を行います。	<b>インチャージ業務基礎講義・ディスカッション</b> インチャージの業務全般をレクチャーする座学形式の講義と、他チームの実践例を共有し、効果的な監査の実現を目指すグループワークを行います。

## 修了考査対策支援

公認会計士登録まで法人全体でサポート!



先輩職員をチューターに迎えて、**修了考査対策に特化した勉強会**を開催

直近合格者の**体験談**  
 実務の中で得られる**試験対策**のポイントを共有

試験2か月前から**残業抑制**

法人の会議室を**自習室として開放**

結果

2023年度 **修了考査**

**初受験合格率**  
**88%**  
 (全国合格率76%)

東陽には新入職員を様々な形で育てていくシステムがあります。初めての仕事には不安になることがたくさんありますが、先輩職員たちが複数名でしっかりサポート。皆さんが一人前の公認会計士になるまで、実務面や知識面、さらにはメンタル面もケアしていく仕組みがあります。安心して東陽でキャリアをスタートさせてください。



## 新人教育システム



## キャリアアップサポート

- |                                 |                 |
|---------------------------------|-----------------|
| 01   修了考査専門学校費用負担               | 02   自習室の開放     |
| 03   修了考査前の試験休暇/残業抑制            | 04   各種資格取得支援制度 |
| 05   修了考査やIT試験の受験料負担            | 06   出題傾向と対策の共有 |
| 07   先輩職員による、試験勉強のための質問・相談窓口の設置 |                 |

## About ojt

**学んだ知識はOJTで定着。**

**尊敬できる先輩に  
一歩でも近づきたい。**

入所1年目は新人研修の後、監査チームに入り、OJTを受けながら業務に就きます。私は、監査手続の理解が比較的しやすい「現金預金」「借入金」の科目を担当しました。この年の夏には夏季研修があり、それまで経験してきた科目の振り返りを行い、理解が漏れた部分を補います。座学だけでなく、入所2年目、3年目の先輩たちと構成される縦割メンバーで討議をするディスカッション研修が印象的でした。与えられた事案について、先輩たちとさまざまな角度から検討するのですが、力の差を強く感じる体験でした。

現在、2年目に入り、OJTを継続中です。東陽では1人の新人につきジュニア、シニア、マネージャーの3人が教育担当チームを構成し、育成計画の策定とそれに基づいた指導を実施してくれます。1人につき3人のトレーナーは業界でも他にない手厚さで、大変心強く感じます。

OJTは「OJT管理表」に基づいて行われています。2年目に何をやるか、どういう科目を担当するのかが分かるので、自分の進捗状況が把握しやすく、遅れがあればマネージャーの指示のもとフォローしてくれるのでしっかり知識が身につきます。



私は来年に修了考査を受験するのですが、東陽のOJT制度は修了考査対策にも通じるポイントがたくさんあります。手続ひとつひとつに理解すべきポイントが明記されており、自身の進捗状況も可視化できるので、普段の業務がそのまま試験対策にも繋がっていて無駄なく、無理なく知識が身につきます。他にも考査が近づけば残業や出張を抑制するよう所属チームに要請してくれたり、



監査第1部  
ジュニアスタッフ  
**田口 康太**  
2023年入所

試験直前には試験勉強のための特別休暇が与えられたり、勉強時間の確保もサポートしてもらえるので、仕事と勉強の両立に悩むことは少なそうです。

入所したての頃は目の前の作業をとりあえずこなすことばかりでしたが、業務への理解が進むにつれ、これまでの受験勉強やOJTで得た知識を生かしていることにやりがいを実感できるようになりました。このようなインプット・アウトプットの繰り返しで尊敬する先輩にも一歩ずつ近づけていると思うと、日々の積み重ねの大切さを実感します。受験時代に思い描いていた以上に今は充実した日々を送れています。これからも教わったことを仕事に繋げていくことで、自分の可能性をさらに広げていきたいと思っています。



# TOYO's Work Styles

## 東陽での多様な働き方

「一生プロフェッショナルとして活躍したい」そう思って公認会計士を志した方は多いのではないのでしょうか。公認会計士の資格というのは、その期待に応えられる世界が広がっていると思います。一方で、キャリアの長期形成の為に、ライフイベントに応じた働き方を求められる時期があります。

東陽では、男女問わず、全ての職員が働きやすく、

キャリアとライフイベントを両立できる環境があります。育児・介護に伴う時短勤務、社会情勢に適応した在宅勤務など制度面の充実はもちろんのこと、お互いを信頼し尊重し合う社風から多様な働き方を認め合う風土があります。

東陽ではキャリアもライフプランも両立し、公認会計士として「一生プロ」を目指すあなたをサポートします。

## 福利厚生制度

### 出産・育児・介護支援



### 在宅勤務制度

東陽では、柔軟な働き方を促進するため在宅勤務制度が整っています。

WEB会議システム等の利用が進み、在宅勤務でもスムーズに仕事ができる環境です。

### “より働きやすく”を実現する制度

- **時差出勤、時間有休制度**で家庭の都合に合わせた勤務形態が可能です。
- **計画有休(メモリアル休暇、リフレッシュ休暇)**を設定することで計画的に家族のイベントや旅行を楽しむことができます。



監査第2部  
シニアスタッフ  
**畠山 明子**  
2011年入所

## Interview

### 早めに主査を経験し育休へ周囲のサポートで

### 安心して復帰できた

父が建築士の家で育った影響か、小さいころから漠然と「専門家」というものに憧れていました。そして自分の人生の上で、結婚出産もキャリアプランとして実現したいと思っていたので、自分の力でキャリアを継続できる専門家へ想いは強くなっていました。「専門家」の中で公認会計士を目指そうと決め、晴れて合格。私の会計士としてのキャリアは東陽からスタートしました。

東陽では、チームメンバーに税務やコンサルに強みを持っている経験豊富な会計士が多く、刺激を受けながら成長できたと思います。また、東陽の規模感が丁度良く、早めに主査も経験できたので、一通り業務がこなせる自信がついた頃に産休に入れた事がよかったです。育休から復帰前の面談で、復帰するチームや復帰後の働き方を相談し、調整してもらっていたおかげで、安心して復職できました。

### 長年の信頼関係で休園も乗り切る

現在は2人目の育休から復帰し、時短勤務をしています。コロナで保育園が休園になったときも在宅勤務で業務が完結するような調整もスムーズにしてもらってストレスなく仕事ことができました。周りの人の優しさや、長年培ってきたお互いの信頼関係でうまく仕事をまわせていると感じます。もう少し子供が大きくなったら、仕事内容や役割をステップアップさせて、キャリアも積んでいきたいと思っています。そう考えている私の気持ちも上司は汲んでくれていて、徐々にキャリアアップをするような計画をしてくれています。東陽は個人のペースを大切にする社風があるので、私も長く勤めることができている。

振り返ってみて、公認会計士という資格のおかげで、昔自分が思い描いたキャリアビジョン通りに進んでいると感じます。出産・育児後も復帰しやすいし、監査の仕事は何年離れても勤めはすぐ戻ると感じました。皆さんが思い描いているライフプランは公認会計士という資格が叶えてくれると思います。安心して目指してください。



# BACK OFFICE WORK



パンフレット撮影

## 間接業務特集

東陽監査法人では監査業務以外の様々な分野の業務（間接業務）に携わることができます。監査業務で得た知識を活かす仕事はもちろん、リクルート活動等、一緒に働く仲間を増やす仕事も経験できます。間接業務を通して、

普段関わることのないメンバーとも交流を持てます。このページで紹介する業務はごく一部ですが、年次が若いうちから関わるができるチャンスがあります。ぜひ興味がある分野を探してみてください。

### 広報・出版



*Publication*

東陽では会計に関わる数々の専門書を毎年発行しています。希望すれば若い年次から編纂のメンバーになることができます。自身が関わった書籍が世に出る体験を味わう事ができます。法人内には各専門分野の執筆のスペシャリストが数多くいますので、会計の知識も含め吸収することができます。

将来的に「自分の本を出してみたい」と考えている方は監査法人内で経験を積むチャンスがあります。

### リクルート活動

受験生のみなさんには一番イメージが湧きやすい仕事です。説明会の運営はもちろんX(旧Twitter)等広告の提案、パンフレットや動画の作成協力など、Jスタッフ1年目から主力として活動することができます。関わった受験生が入所に至ったときの喜びは非常に大きいものです。

また、リクルート活動という大きなイベントを協力して運営することで同期や別のチームとの先輩とも自然と仲良くなることができます。



予備校主催の合同説明会ブース運営

*Recruiting*

### 研修

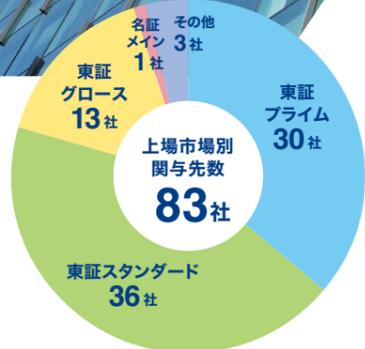
監査法人では各職階で年間を通じて数多くの研修が行われており、大部分は法人内の希望者から講師を選定しています。早ければ修了審査に合格後、研修講師として法人内のメンバーに向けて講義を行ってもらう業務もあります。研修講師としてテーマに応じた講義内容を組み立てる中で、自分自身の会計分野への知識が深まります。

また、講義を行う中でプレゼンテーション能力や、わかりやすく伝える力なども磨かれます。



どれも会計士としてのスキルを磨く上では身に付けておいて損はないスキル。ぜひ研修講師に手を挙げてみてください。

*Training*



[ 2024年3月末現在 ]

## 準大手監査法人としての安定基盤

## クライアント数は243社

クライアントの特徴としては、製造・小売・金融・鉄道など多業種に亘り、また、学校法人をはじめ、非営利法人も多くあります。

スタッフとパートナーの距離も近く、チーム一丸となって監査に臨み、クライアントに対しても意思決定が早いことから、強い信頼関係を構築しています。

### 法人情報

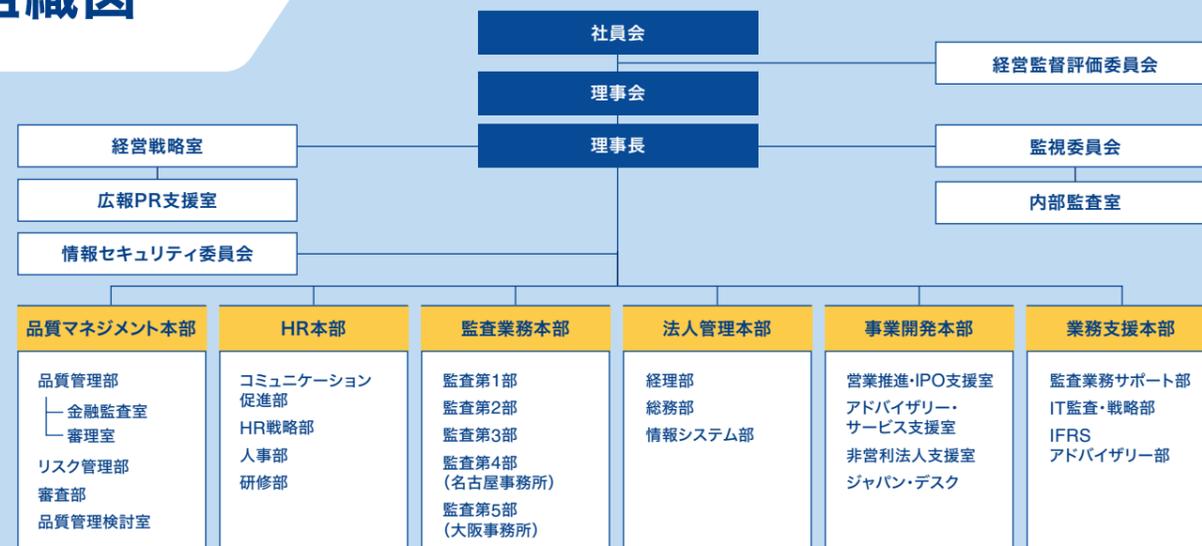
名称	設立
東陽監査法人 (Crowe Toyo & Co.)	1971年
出資金	理事長
254百万円	浅川 昭久

### 人員構成

[ 2024年3月末現在 ]

パートナー	専門職員	事務職員
代表社員 7名 社員 51名	公認会計士 176名 公認会計士試験合格者等 68名 その他の専門職員 23名	24名
合計 349名		

## 組織図



応募資格	公認会計士論文式試験全科目合格者		
採用予定人数	20名程度		
給与	法人規定による(月給320,000円以上) ※時間外勤務手当別途支給		
入所時支度金	20万円支給(100km以上の引っ越しを伴う場合は別途30万円支給)		
賞与	法人規定による(年2回/原則として6月、12月、ほか決算賞与実績あり)、公認会計士及び公認会計士論文式試験合格者紹介報奨金、資格取得報奨金、在宅勤務給付金		
昇給	年1回	固定残業代	なし
雇用形態	正社員	勤務時間	10:00 ~ 18:00
契約期間	無期雇用 期間の定めなし	休憩時間	60分
時間外労働	あり	受動喫煙対策	あり(屋内禁煙)
諸手当	時間外勤務手当、通勤手当、休日出勤手当	試用期間	あり(3ヶ月)
勤務地	東京・名古屋・大阪 (雇入れ直後)東陽監査法人及びクライアント先、並びに法人が許可する場所 (変更の範囲)東陽監査法人及びクライアント先、並びに法人が許可する場所		
募集職種	監査業務等 (雇入れ直後)監査業務等。ただし、指示等により法人管理業務の補助も行う。(変更の範囲)監査業務等。ただし、指示等により法人管理業務の補助も行う。		
休日・休暇	土・日・祝日(※1年単位の变形労働時間制の運用あり)、年末年始休暇、夏期休暇、試験休暇(実務補習所修了考査等)、メモリアル休暇、リフレッシュ休暇、慶弔休暇(本人の結婚休暇を含む)、子の看護休暇、産前産後休暇、育児休業制度、介護休業制度、家族の介護休暇、育児による時短制度有り(子が小学校卒業まで)、介護による時短制度有り		
社会保険	健康保険、厚生年金、公認会計士企業年金基金、雇用保険、労災保険		
研修制度	新人研修(Word・Excel実務演習あり)、コミュニケーションスキル養成研修、監査業務スキル養成研修(主査業務・IT監査等)、継続的勉強会等、様々な研修制度あり		
福利厚生	実務補習所入所料及び補習料、公認会計士協会登録費、公認会計士協会会費 全額法人負担(入所月以降)、修了考査受験時の受験料及び専門学校費用負担(上限あり)、ノートPC・セカンドモニタ・スマートフォン貸与、業務災害総合保険、各種保養施設等利用補助あり、書籍購入補助あり、各種部活動あり(テニス、フットサル、ボウリングなど)		
各種制度	各種資格取得支援制度、企業型確定拠出年金制度、在宅勤務制度、メンター制度		

### 入所時支度金とは

定期採用者に **全員20万円支給** されます。支度金の用途は、入所後、社会人として相応しい身なり(スーツや鞆)を揃えていただくために支給されます。また、入所にあたり100km以上の転居を伴う方には転居費用の補助として

**別途30万円支給** されます。



就職決定後は多くの費用がかかってしまう事が多いので、学生の方や受験専念の方でもすぐに社会人としてスタートできるように法人としてサポートしています。